

Date:2016/9/5

富山県民一斉防災訓練 「シェイクアウトとやま」に初参加！

平成28年9月1日(木)、防災に対する意識をより一層高めるため、富山県が主催する県民一斉防災訓練「シェイクアウトとやま」に初めて参加しました。

シェイクアウト(ShakeOut)とは、「(地震の)揺れに備えろ！」という安全行動の標語、かけ声をイメージして、アメリカの地震研究チームが研究成果を広く知らせる防災訓練のために考えられた造語です。

一斉にシェイクアウト訓練を行うことは、「参加者が参加者を呼ぶ」ことにつながり、より多くの方が防災に関心をもつようになることが期待されています。

今回、利賀ダム工事事務所では、職員20名が訓練に参加し、地震発生を想定した庁内放送を合図に、各々が姿勢を低くして机等の下に身を隠し、1分間身を守る安全確保行動(①まず低く、②頭を守り、③動かない)をとりました。



机の下は思った以上に狭く、体が全て隠せない人もいました。訓練参加者からは、「小学校の防災訓練を思い出した。」という感想も。

地震発生時には、「自分の命は自分で守る」ことが大事であり、このことが迅速な災害対応に繋がります。災害対応業務を担う国土交通省の職員として、防災に対する意識をより一層高めていきたいと思えます。